

平成 26 年度 施設基準等の届出及び病床機能報告の状況調査

記入要領

調査目的	平成 26 年度診療報酬改定で行われた「病床の機能分化」について 会員病院への影響を検証し、当協議会で行う政策提言等のための 資料とすることを目的とします。
提出方法	以下の事項にご留意いただき、メールに添付してご送付ください。 送付先：kikaku@jmha.or.jp <ul style="list-style-type: none">● 本記入要領に沿って3つのシート(病院情報、施設基準等の届出 状況報告、病床機能報告)に入力してください。● コメント等は「病院情報」シートの自由記載欄に入力してく ださい。● シートとブックに保護はかけておりませんが、集計の都合上、 行列、セルに対する挿入・削除・結合等の操作は絶対にしな いでください。ご不明・不都合な点は企画部までご連絡くだ さい。● 集計シートは自動入力されます。なお、シートはすべて提出 してください。 <ol style="list-style-type: none">1. <u>Excel Book のファイル名を必ず病院名に変更</u>してください。 <p>平成26年度 施設基準等の届... → 〇〇病院</p>2. 送信の際は、以下を参考に Excel Book を添付の上、送信して ください。 <div data-bbox="619 1541 1369 1727" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>件名：施設基準等の届出及び病床機能報告の状況調査の回答 本文：標記件名の調査について回答いたします。 病院名 〇〇病院 担当 〇〇</p></div>
提出ファイル	Excel Book 平成 26 年度 施設基準等の届出及び病床機能報告 の状況調査 調査票.xls
提出期限	平成 26 年 12 月 19 日
照会先	公益社団法人 全国自治体病院協議会 企画部

TEL (直通) 03-3261-8557

MAIL kikaku@jmha.or.jp

Sheet「病院情報」記入要領

提出日、病院コード、施設名、許可病床数（一般、療養、精神、結核、感染症）、連絡先（所属、氏名、電話番号、メールアドレス）、自由記載欄

セルの選択時に表示されるメッセージに従い入力してください。

Sheet「施設基準等の届出状況報告」記入要領

このシートは、平成**25**年7月1日に地方厚生局へ提出した「施設基準等の届出状況報告」を基に作成してください。

なお、「平成**26**年10月1日現在」は、9月30日経過措置終了後の状況を入力してください。

施設区分	施設区分を「特定機能病院、専門病院（がん・循環器専門病院として地方厚生（支）局長に届け出た保険医療機関）、その他の病院、有床診療所、無床診療所」の中から選択してください。
許可病床数	医療法に基づく許可病床数を入力してください。
医療保険届出病床数	入院料等の届出を行った病床数を入力してください。
稼働病床数	使用を休止している病床を除いた実稼働病床数を入力してください。
変更・継続の理由	「平成 25 年7月1日現在」と「平成 26 年10月1日現在（経過措置終了後）」を比べて変更があった場合は必ず理由を入力してください（必須）。 継続の場合でも特に理由があれば入力してください（任意）。 なお、黄色のセルからはみ出しても無視して入力してください。

入院基本料 特定入院料	平成 25 年及び平成 26 年の各時点で該当する「届出区分」の「届出病床数」を入力してください。
平均在院日数	平成 25 年 <u>4 月～6 月</u> 及び平成 26 年の 7 月～9 月の 3 カ月の平均在院日数を入力してください。 なお、3 カ月の入退院の数が 0 又は 1 の場合においては、分母を 1 として計算してください。※小数点以下は切り上げ。
(旧・新) 看護必要度の基準を満たす患者の割合	算出方法については各施設基準上の算出方法により、平成 25 年及び平成 26 年の 7 月～9 月の 3 カ月間の平均値を入力してください。 看護必要度の基準を満たす患者の延べ数 (7 月+8 月+9 月) ÷ 入院患者延べ数 (7 月+8 月+9 月) = 3 カ月間の平均値
在宅復帰率	算出方法については各施設基準上の算出方法によること。 算出期間は平成 26 年 4 月～9 月の 6 カ月間としてください。
在宅療養支援病院 在宅療養支援診療所 在宅療養後方支援病院	平成 25 年及び平成 26 年の各時点で該当する「届出区分」の「届出の有無」を選択してください。 「種類」は施設基準通知の規定に従い選択してください。 「第 14 の 2」の 1 の (1) に規定 → 強化型在支病 (2) に規定 → 連携強化型在支病 (3) に規定 → 従来型在支病 「第 9」の 1 の (1) に規定 → 強化型在支診 (2) に規定 → 連携強化型在支診 (3) に規定 → 従来型在支診

Sheet「病床機能報告制度」記入要領

このシートは、本年 10 月 1 日より開始された医療法に基づく「平成 26 年度 病床機能報告制度」において、厚生労働省が整備する全国共通サーバへ報告した「報告様式の③病棟票」を基に作成してください。
なお、各項目と選択肢は「③病棟票」に合わせています。

1. 医療機能

(1) ～ (3) 欄

「1. 高度急性期機能、2. 急性期機能、3. 回復期機能、4. 慢性期機能」の中から選択してください。

(4) 欄

6年以内に変更予定あり

「② 6年が経過した日における病床の機能の予定」に向けて、それ以前に変更予定がある場合は、「あり」を選択してください。ない場合は空欄のままにしてください。

変更後の機能

「1. 高度急性期機能、2. 急性期機能、3. 回復期機能、4. 慢性期機能」の中から選択してください。

変更予定年月（西暦）

「6年以内に変更予定あり」で「あり」を選択した場合は、その変更予定年月を西暦で入力してください。

（例）2014/12

2. 許可病床数【平成26年7月1日時点】・稼働病床数【平成25年7月1日～平成26年6月30日】

(5) ～ (8) 欄

平成26年7月1日時点の当該病棟の許可病床数、平成25年7月1日～平成26年6月30日の稼働病床数について、病床種別毎に入力してください。

なお、療養病床については、そのうち医療療養病床数もあわせて入力してください。療養病床がすべて介護療養病床の場合は、医療療養病床数は「0床」と入力してください。

許可病床

許可病床とは、平成26年7月1日時点で医療法の規定に基づき使用許可を受けている病床をいいます。

稼働病床

稼働病床とは、許可病床数から休床の届出をしている病床の他、平成25年7月1日～平成26年6月30日の過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床を除いた病床をいいます。

医療法上の経過措置に該当する病床

医療法上の経過措置に該当する病床とは、平成13年3月1日時点で既に開設許可を受けている一般病床であって、6.3㎡/床（1人部屋）・4.3㎡/床（その他）となっている病床をいいます。

3. 一般病床・療養病床で算定する入院基本料・特定入院料及び届出病床数【平成 26 年 7 月 1 日時点】

- (9) ～ (10) 欄
- 当該病棟の一般病床・療養病床において平成 26 年 7 月 1 日時点で算定している入院基本料・特定入院料を入力してください。療養病床がすべて介護療養病床の場合は、「54. 療養型介護療養施設サービス費（介護療養病床として使用）」を入力してください。
- また、当該入院料を算定するものとして地方厚生（支）局長に届け出ている病床数を入力してください。
- なお、当該病棟において病室単位で「35.特殊疾患入院医療管理料」、「39.小児入院医療管理料 4」、「43.亜急性期入院医療管理料 1」、「44.亜急性期入院医療管理料 2」、「47.地域包括ケア入院医療管理料 1」、「48.地域包括ケア入院医療管理料 2」の届出を行っている場合は、該当番号と、上記の病床数のうち当該届出の病床数を再掲であわせて入力してください。